授業　安芸高田市立吉田中学校

研修グループ　Ｂグループ

　安芸太田町立加計中学校

　三次市立十日市中学校

　庄原市立東城中学校

**社会科学習指導案**

単元名　　生産の場としての企業

日時　　令和４年11月18日（金）　第2校時

学年　　第３学年Ａ組（女子17名，男21名　計38名）

**単元について**

　本単元は，中学校学習指導要領第２章第２節社会の公民的分野の内容項目「Ｂ私たちと経済」の中項目「(1)市場の働きと経済」の内容に基づいている。本単元は，経済活動の意義について消費生活を中心に学びながら，なぜ市場経済という仕組みがあるのか，どのような機能があるのか，なぜ金融は必要なのか，どうしてそのような仕組みがあるのか，個人や企業には経済活動においてどのような役割と責任があるのか，といった市場経済の基本となる考え方などに関する理解を基に考察し，表現することができる適切な問いを設け，それらの課題を追究したり解決したりする活動を通して，市場の働きと経済について関心を高め，課題を意欲的に追究する態度を育成することを主なねらいとしている。これまでの公民の学習では，現代社会にみえる変化とその課題や対立と合意，効率と公正の考え方，日本国憲法の基本原則をはじめ，憲法によって保障されている基本的人権や憲法に基づく政治，さらには国の政治の仕組みや世論の形成，地方自治のあり方についてなど現代社会において行われている政治を学習している。本単元では，現代社会において行われている経済を学習する。生徒が日頃から目にするニュースや，身の回りにある社会事象を積極的に取り上げることにより，学習内容を身近な問題として捉え，生徒一人一人の経済への関心を高めていきたい。また，経済活動と我々の社会生活があらゆる面で密接な関りをもっていることを考えさせたい。さらに経済活動が，自分の今やこれからの人生と深い関わりがあると実感させたい。本単元の学習をとおして，経済の「希少性」に触れながら，様々な立場で分業と交換を行い，社会全体の利益のために経済活動しているということを考えさせていきたい。

　本小単元については，企業の利潤（利益）追求という考えと，労働者の権利について双方のバランスを意識して学ばせたい。全員の利益や安心・安全な生活を実現していくために，共通のルールに基づいて経済活動が行われている。労働者と経営者の努力が，持続可能な社会の実現に必要不可欠であることについて，多面的・多角的に考察させたい。

**生徒の実態**

本学級で実施した１学期の授業アンケートによれば，「社会科の授業はよく分かります。」という項目に対して肯

定的な回答をした生徒は81%（30名）であり，８割の生徒は授業をおおむね理解しているということが分かる。ま

た，「ペアやグループでの活動が，課題の解決につながっています。」という項目に肯定的な回答をしたのは，89％

（33名）,「授業では，友達と話し合うと良い考えが浮かびます。」という項目に肯定的な回答をしたのは，95％

（35名）であり，ペアやグループ活動で対話を行うことで，良い考えが浮かび，課題解決につながっているという

ことが分かる。

しかし，「授業では，自分の考えが出せています。」という項目の肯定的な回答は54％（20名）と低く，グループで他者の意見を取り入れて自分の意見をより深く考えていくことはできるが，個の意見をしっかり持ち，発言することに課題のある生徒が多いと推測する。本単元では，資料を読み取り，課題を解決していくために，グループ活動を取り入れていくが，その際，個人が一方的に意見を発言するだけでなく，グループ内で司会を設け，より多くの生徒が意見を言えるように問いかけ，グループ全体での意見が深まるように進めていく。また，各グループでの話し合いがより深まるように，グループ内で経営者役と労働者役の役割を設ける。そうすることで，様々な角度から当事者意識をもち，それぞれが発言する必然性をもちながら，より深い意見が多くの生徒から出るように支援していく。

**単元の目標**

◯　身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。また勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。また社会生活の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護，財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解する。 【知識及び技能】

◯　個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察，構想し表現する。また社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現する。また市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し表現する。 【思考力，判断力，表現力等】

◯　我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとする。

【学びに向かう力，人間性等】

**単元の評価規準**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ア知識・技能 | イ思考・判断・表現 | ウ主体的に学習に取り組む態度 |
| ①身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解している。  ②市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。  ③現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。  ④勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神を理解している。  ⑤社会生活の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢化における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。  ⑥財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 | ①個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。  ②社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。  ③市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し表現している。  ④財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し表現している。 | ①我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。 |

（◯…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」）

**指導と評価の計画（全24時間）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 次 | 時 | 学習内容 | 知・技 | 思・判・表 | 主体的態度 | 評価規準 | 評価方法 |
| 第一次  **つかむ** | １ | **【本質的な問い】これからみんなが幸せな社会をつくっていくためにはどうしたらいいか？**  **【単元を貫く問い】私たちが生活する社会ではどのような考えで経済活動が行われているのか？**  『スーパーマーケットを経営してみよう』から課題を見つけ，単元を貫く問いについて予想をたて，単元の学習に関する見通しをもつ。  **【単元を貫く問い（予想の例）】**  ・立地など様々な状況を考えた上で，経済活動が行われている。  ・企業はお金もうけと世の中への貢献を考えて，活動している。 |  |  | ● | 我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】 | 観察  ワークシート  自己評価表 |
| 第二次  **深める** | ２ | **【小単元を貫く問い】経済の仕組みは私たちの暮らしとどのように関係しているのだろう。**  経済の意義と仕組みを理解する。 | ● |  |  | 経済全体の仕組みと分業について理解する。【ア−①】 | 観察  ワークシート |
| ３ | 消費生活とお金の関係を理解する。 | ● |  |  | 家計の収入と消費の考察から消費生活について考える。【ア−①】 | 観察  ワークシート |
| ４ | 消費者の権利と政府の働きをまとめる。 | ● |  |  | クーリングオフやＰＬ法などの仕組みから，消費者を守るための仕組みや，消費者の権利について理解する。  【ア−①】 | 観察  ワークシート |
| ５ | 流通について身近な事例から理解する。 | ● |  |  | 普段買っている文房具や衣服の流通経路を考える。また流通の合理化により何が効率的になるか，消費者と小売業者の立場から考えさせる。【ア−②】 | 観察  ワークシート |
| ６ | 身近な例を用いて，市場経済における価格の機能や役割を説明できるようにする。 | ● |  |  | （価格には，「時間や日にちによって変動する価格」と「ほぼ固定された価格が」あることを説明した上で）いくつかの具体例をあげ，「価格が変動する理由」と「供給側・需要側双方のメリット」についてまとめる。【ア−②】 | 観察  ワークシート |
| ７  **【小単元を貫く問い】社会の課題を解決するために，私たちはどのように国の政治に関わるべきなのだろう。** | 小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | 〇 | 〇 |  | 私たちの生活と経済との関わりを理解している。【ア—①】  【ア−②】  個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し表現している。【イ−①】  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  私たちの生活に必要なものの生産・流通・消費の仕組みの全体を経済といい，暮らしと密接に関わっている。そして，私たちは資源を選択して消費する暮らしの中で，消費者基本法や製造物責任法（PL法）などで政府により保護されている。また，市場経済のなかで，需要と供給の関係で市場価格が決まるなど，多くの人の利害が調整され，市場経済が行われている。 | 観察  レポート |
| 第三次  **深める** | ８  **【小単元を貫く問い】持続可能な生産，労働の仕組みにしていくために，どのような考えが必要なのか。** | 生産活動のためにどのような要素が必要なのか，理解する。 | ● |  |  | 企業はどのような目的で生産活動をしているのか，また，どのような要素が生産のために必要なのか，理解している。【ア−③】 | 観察  ワークシート |
| ９ | 株式会社はどのような仕組みで運用しているのか理解する。 | ● |  |  | 株式会社はどのように資本を集めて，利潤を得ているのか，また，それにどのような人々が関わっているのか，理解している。【ア−③】 | 観察  ワークシート |
| 10 | なぜ企業の独占を禁止しているのか，表現する。 |  | ● |  | 企業の競争はなぜ必要なのか，また，なぜ独占禁止法が制定され，公正取引委員会があるのかについて自分の考えを表現している。【イ−①】 | 観察  ワークシート |
| 11 | 労働者が働く意義と労働者を守る仕組みについて理解する。 | ● |  |  | 労働者はどのようなことを重視して働いているのか，また，政府は，なぜ労働者を守るための法律を制定しているのか，理解している。【ア−④】 | 観察  ワークシート |
| 12 | 現在の雇用形態はどのように変化しているのか，理解する。 | ● |  |  | 近年，非正規雇用労働者が増加し，働き方が多様化していく中で，どのような課題が生まれているのか，理解している。【ア−④】 | 観察  ワークシート |
| 13 | 日本が抱える労働問題には，どのようなものがあるのか，理解する。 | ● |  |  | 女性の働き方や高齢者雇用，「ブラック企業」に関わるワーキングプア，過労死など，現在の社会には，様々な労働問題があることを理解している。【ア−④】 | 観察  ワークシート |
| 14 | 「ブラック企業」をなくすためにどのような考えが必要か，表現する。【本時】 |  | ○ |  | 「ブラック企業」をなくしていくために，様々な視点で，どのような考えが必要なのか，自分の考えを表現している。【イ−②】 | 観察  ワークシート |
| 15  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  様々な問題がある中で，企業と労働者はお互いに協力しながら，課題を解決していく必要がある。経営者と比べると，労働者は弱い立場にあるが，経済を担う一員であることを自覚する必要も求められる。また，国も労働関係の法律や労働組合などの仕組みを整えながら，企業と労働者を守っていく必要がある。 | 小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。 | ○ | ○ |  | 現在の生産の仕組み，働きや労働者の義務，権利，それらを守る国の仕組みを理解している。【ア−③】【ア−④】  労働問題を解決するために，多面的・多角的に考察し，表現している。【イ−②】 | 観察  ワークシート |
| 第四次  **深める** | 16 | **【小単元を貫く問い】金融機関はなぜ社会に必要なのか。**  金融の仕組みと働きについて理解する。 | ● |  |  | 金融の仕組みがどのように社会の役に立っているか理解している。また，金融商品のリスクとリターンについても，理解している。【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 17 | 日本銀行の役割を理解する。 | ● |  |  | 景気変動と金融政策について理解している。またインフレとデフレの時の金融政策について，理解している。【ア－③】 | 観察  ワークシート |
| 18 | 為替相場の変化の影響を理解する。 | ● |  |  | 現在の日本は円安が進んでいるが，このまま円安が進めば私たちの生活にどのような影響がでてくるか理解している。【ア－③】 | 観察  ワークシート |
|  | 19 | 小単元を貫く問いについて，自分の考えをまとめる。  **【小単元を貫く問い】令和５年度予算で『社会資本の整備を進めるために，公共事業費を増額する』という案がある。公共事業費の増額が社会に与える影響に着目し，この案に賛成か反対かを考えよう。**  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  ほとんどの人にとってお金には希少性があるが，銀行などの金融機関によってお金が不足していた人は住宅を買うことができ，企業は新しい機械を手に入れて，生産を増やし利益を得ることができる。金融機関はお金が余った人と，お金が足りていない人の橋渡しをする役割で社会に必要とされている。 | 〇 | 〇 |  | 金融の仕組みについて，景気動向を踏まえて理解している。【ア－③】  金融商品のリスクとリターンや為替相場の変化が私たちの生活に与える影響について，多面的・多角的に考察，構想し表現している。【イ－①】 | 観察  レポート |
| 第五次  **深める**  **活用する** | 20 | 経済における政府の仕事を理解する。 | ● |  |  | 政府が行う財政の役割として，社会を支える基本的な仕組みを整えること，公正な社会の実現のために社会保障サービスを提供すること，日本銀行と協力して景気の安定化をめざすことについてそれぞれ理解している。【ア－⑥】 | 観察  ワークシート |
| 21 | 税金の仕組みや国債発行の影響について理解する。 | 〇 |  |  | 公正な税のあり方について，累進課税の制度と，消費税のように同じ税率を負担する制度があることを理解している。また，国債残高が増え続けている現状について，理解している。【ア－⑥】 | 観察  ワークシート |
| 22 | 少子高齢社会における社会保障の仕組みについて理解する。 | 〇 |  |  | 社会保障制度の４つの柱（社会保険，公的扶助，社会福祉，公衆衛生）についてまとめ，少子高齢化によりどのような問題に直面しているかを理解している。【ア－⑤】 | 観察  ワークシート |
|  | 23 | 小単元を貫く問いについて，自分の立場と理由をまとめ，立場の異なる他者と議論する。  **【小単元を貫く問い（まとめの例）】**  『社会資本の整備を進めるために公共事業費を増額する』という案に賛成の考えとしては，高速道路や橋の老朽化により，修理しないと生活が不便になるということがある。公共事業費の増額により歳入で不足する分については，道路などはみんなが使う物なので，国債の発行や消費税率の引き上げで皆が同じような負担となる方法が考えられる。 |  | 〇 | 〇 | 財政の役割について多面的・多角的に考察し表現している。【イ－④】  我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】 | 観察  ワークシート |
| 第六次  **まとめる** | 24 | 単元を貫く問いについて，これまでの授業を振り返り，自分ができることを含めて単元のまとめを行う。  **【単元を貫く問い（まとめの例）】**  経済活動は，安心・安全を確保するためにそれぞれの立場の人が努力して進めている。利潤  を確保して，自分の財産を守ることもあるが，適正に取引したりしてみんなが暮らしやすいように調整しているという面もある。  　経済活動は，企業，個人，国などの公的な立場が，それぞれの目指す社会や生活を実現するために活動している。お金や労働力が限られている中で，それらをどのように使い，自分たちの安心・安全を確保するかを考えながら，経済活動は進められている。 |  | 〇 | 〇 | 個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。【イ－①】  市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察し，考察，構想し，表現している。【イ－③】  我が国の経済について, 現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関ろうとしている。【ウ－①】 | 自己評価表 |

**本時の学習**

（１）本時の目標

「ブラック企業」の現状を知り，様々な立場で対策を考え，「ブラック企業」をなくしてくためにどのような考えが必要なのか，表現できる。

（２）本時の学習展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意事項  （◆「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て） | 評価規準  （評価方法） | ICTの活用 |
| １　前時を振り返り，課題意識を持たせる。 | | | |
| ・前時を振り返る。 | ・前時に，女性の働き方や高齢者雇用，「ブラック企業」など，現在の社会には，様々な労働問題があることを振り返る。また，「ブラック企業」の問題として，過労死やワーキングプアなどがあり，労働環境がなかなか保障されていない実態があることも確認する。 |  |  |
| ２　本時の学習課題を確認する。 | | | |
| ・課題の設定  ・経営者側の労働環境悪化について確認する。 | **学習課題**  「ブラック企業」をなくしていくにはどのような考えが必要なのか？  ・経営者側の超過勤務やサービス残業の問題も発生しており，経営者側の労働環境が保障されない企業もあることを確認する。 | **〈予想される生徒の発言〉**  労働者も厳しい環境の中で働いているけど，経営者も大変なところが多いのかもしれない。 |  |
| ３　課題解決のための動き | | | |
| ・学習課題について，資料を参考に様々な立場で考える。  ・班で話し合い，意見をJamboardに入力し，全体交流する。 | ・それぞれの班で架空の会社を想定し，班長が経営者役，その他の班員が社員役となり，学習課題の解決のために話し合いをさせる。  ・班で話し合う前に，経営者役と社員役で分かれ，話し合う手がかりとして，働き方改革に取り組む４つの企業の取り組みを示す資料をGoogleクラスルームに提示し，それぞれの立場で課題解決について，話し合う。  ◆資料の内容を理解するのが難しい生徒には，どの部分でつまづいているのか把握し，難しい用語は説明を加える。  ・資料の確認後，班に戻り，それぞれの立場で，学習課題の解決に向けて話し合い，意見をJamboardで全体交流する。  ・それぞれの立場で，話し合いをしながら，「労働力の希少性」や「経営者が強い立場にあること」などに気付かせる。 | Googleクラスルームに  格納した資料  （経営者役に提示する資料）  資料①「週休３日制の３つのタイプと労働時間」  資料②「週休３日制の３つのタイプの特徴」  資料③「週休３日制（週休４日制）に取り組む企業」  （労働者役に提示する資料）  資料④「週休３日制でも生産性４割向上」  資料⑤「週休３日制の取り組み結果」 | ○クラスルーム内の「資料」に提示された資料から，必要な情報を収集している。  ○Jamboardで班の意見を入力し，交流している。 |
| ４　本時を振り返る。 | | | |
| ・学習課題について，自分の意見をまとめる。  ・本時を振り返り, 次時につなげる。 | ・「ブラック企業」をなくすためには，どのような考えが必要なのか，まとめる。  ・自己評価表に振り返りを記入する。  **〈予想される生徒の発言〉**  ・「ブラック企業」をなくしていくためには，経営者と労働者が協力して企業を維持していかなければならない。  ・労働は限界があるので，経営者は，労働者のことも考えなければならない。  ・経営者は適切な給料で働いているのか，気をつけなければならない。 | ・「ブラック企業」をなくすためには，どのような考えが必要か，様々な立場で考え，表現している。（ワークシート） | ○クラスルーム内の「資料」のコメント欄に意見を書いている。 |

※「ブラック企業」について

　本単元では，生徒が学習しやすいように一般的に報道でも使われて耳なじみのある「ブラック企業」という用語を使用した。厚生労働省のホームページでは，次のように記載されている（一部抜粋）。

厚生労働省においては，「ブラック企業」について定義していませんが，一般的な特徴として，① 労働者に対し極端な長時間労働やノルマを課す，② 賃金不払残業やパワーハラスメントが横行するなど企業全体のコンプライアンス意識が低い，③ このような状況下で労働者に対し過度の選別を行う，などと言われています。

厚生労働省ＨＰ　https://www.check-roudou.mhlw.go.jp/qa/roudousya/zenpan/q4.html

これらをもとに，本単元では，「ブラック企業」を「極端な長時間労働やノルマを課す企業」という意味で，使用した。

評価問題（案）

　資料は，ある交通の会社の社員行動規範です。

|  |
| --- |
| 1. 私たちは、お客様の安全を最優先に考えた行動をします。  2. 私たちは、「地域社会の一員である」との自覚を持ち、社会常識に沿った責任ある行動をします。  3. 私たちは、法令を遵守し、その内容・趣旨を正しく理解した行動をします。  4. 私たちは、お客様のニーズに合った、より良いサービスを提供します。  5. 私たちは、環境にやさしい行動に努め、地球環境の保護に積極的に取り組みます。  6. 私たちは、公共交通の担い手として、交通ルールやマナーを率先して守ります。  7. 私たちは、個人の人格と人権を尊重し、皆が安心して働くことのできる職場環境づくりに取り組みます。  8. 私たちは、自らの健康を保持し、増進させることに一丸となって取り組みます。  9. 私たちは、合理的かつ建設的な意見を具申し、社業の発展に努めます。 |

①　なぜこの行動規範をこの会社は定めているのでしょうか。

|  |
| --- |
| Ａ評価  公共交通の担い手として，交通ルールやマナーを労働者が守ることで，消費者が安心・安全に利用ができる企業であることを伝え，さらに，社員全体の働き方を尊重し，人権を保障することで誰しもが安心して働くことのできる職場環境を実現することができ，全体の利益が考えられていることを伝えるため。  Ｂ評価  　利益だけでなく，企業がルールを守ることでみんなが安心・安全に利用することができることを伝えるため。 |

②　この行動規範から私たち消費者自身はどのような行動をするべきだと思いますか？

|  |
| --- |
| Ａ評価  消費者としてルールやマナーを守ることで，経営者や労働者が働きやすく，利用者の誰もが利用しやすいように行動する。私たちは消費者として企業を評価することで支えることが大切である。評価をすることは企業の様々な改善につながり，全体の利益にもつながると考えられるため。  Ｂ評価  　私たちは消費者として，利用する時にはルールやマナーを守り，他の利用者や労働者に迷惑をかけない行動をしなくてはならない。 |